



## 進路相談とキャリア形成

校長 佐藤 明子

短い秋の季節を経て、少しずつ冬の訪れを感じます。日本の四季の美しさを感じる紅葉の季節が、こんなに短いと、気候変動を自分ごととしてとらえていくことの必要性を感じます。本校は11月15日(金)に、生徒会本部役員と有志生徒の皆さん、地域の方々や保護者の皆さんで、『みんなで始めよう🌸お花美化プロジェクト』に取り組み、身の回りの緑化活動への貢献を行いました。改めてこのように、「今できること」「自分たちができること」を具体的に行動し、派手な活動でなくても、一つ一つの事柄を、大切にコツコツと持続していくことができる学校でありたいと思います。

さて、3年生は10月最終週と先週の2回、中学校卒業後の進路先を選択していくための三者面談→進路相談を行いました。中学校までは、義務教育のため、小学校と合わせて9年間の学校生活が保障されています。しかし、その後は義務教育ではないので、自分の力で進路先を切り拓いていく必要があります。その際、ただ単に、「どこかの上級学校や高等学校に入れればいい」という考えでは、上級学校や高等学校卒業後も含めた次の生き方に、大きな影響が出ます。将来を見据えて、「なぜ自分はその学校に行きたいのか」など、自分の考えをもつことが求められます。

生徒が進路を選択するにあたっては、自分の将来の生き方や生活について夢や希望をもち、その実現に向けての計画を立て、自らの意志と責任で生き方を考えていくことが大事です。そのため進路選択は、中学校卒業後の進路先の的確な情報収集のもとに、将来を見通して、自己の個性・能力・適正に関する十分な理解と検討のうえに、生徒自らが納得できるものにする必要があります。そこで、学校と生徒との進路相談は、学級担任を中心に日常から行っていますが、特に3年生2学期に2回実施する〈保護者とともに進める三者面談→進路相談〉は、重要な場、時間となります。生徒の主体的な進路選択とその決定に向けては、保護者の理解と支援が欠かせないからです。学校における面談時間だけでなく、進路面談後も家庭での話し合いを十分に行いながら、学校と家庭が協力していくことが大切です。

3年生は、これから3月までの期間は、進路選択を踏まえ、進路決定をしていく重要な時期になっていきます。進路選択への道は3年生になって急に始まるものではありません。1・2年生での学びの積み重ねがあつてのものです。1・2年生においても、日頃の教科の学習に加え、望ましい勤労観・職業観、主体的な進路選択と将来設計などのキャリア形成に関する学習をしています。そのうえで、3年生の進路選択につながっています。1・2年生の段階からキャリア形成を意識した学びが継続していくよう、ご家庭のご協力やご支援もお願いいたします。

先週は、本校においては感染症が大流行しました。予兆もなく、急激な感染拡大の状況になりましたので、1・2年生には学年閉鎖とし、3年生は、進路選択する重要な時期であることを鑑み、健康状態を十分に観察したうえで、学級よりの時間措置を行いました。このことに伴い、三者面談の弾力的な実施となりましたが、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただきありがとうございました。小康状態になりましたので、今週より通常通りの教育活動に戻りましたが、季節柄、ご家庭におかれましては引き続き、感染予防に努めていただきますようお願いいたします。

### 🚢 1・2年生が、実践的なスキルを身に付けるために『校外学習』へ 🏯

18日(水)は1年生が鎌倉方面へ、19日(木)は2年生が横浜方面へ、校外学習に行きます。今年度の校外学習の事前学習では、多くの関係機関の方々からご指導をいただきました。当日は校内で学んだことを実際の場面で、行動する機会です。班行動で移動する責任を感じることも重要ですが、見学地では、専門家や先人とつながる時間が待っています。10月よりこの間、事前学習において様々な方面から得た知識は、当日の有益な情報源となります。ぜひ、これまでの学びを生かす時間であるとともに、思い出に残る時間になることを期待しています。

